

早稲田大学 社会科学部 国語 講評

〔総合分析〕

出題形式	全問マーク式
試験時間	60分(現代文1問、現古漢融合文1問)
難易度	昨年比、やや難化

〔大問別講評〕

(一) 評論文。「ナショナリズムとグローバリズム」について。

出典:東浩紀『観光客の哲学』。

《本文字数:約 3900 字＝昨年より約 300 字増加。設問数:10＝昨年と同じ。》

小問	難易度	コメント
問一	やや易	【漢字】㊦は消去法も有効。㊧は基本問題。
問二	やや易	【空欄補充】aは一つ目の空欄の次段落、「アイデンティティ」から容易に判断できる。bは一つ目の空欄の4行後に「国家を人間と等置」とあることから判断できる。ただ実は、問七のホに答えがある。cは「思考」と対比されている語を探す。空欄Aの前段落にある。
問三	標準	【理由説明】直後の一文にある。消去法も有効。
問四	やや易	【傍線部理解】「ナショナリズムの時代」(次段落)の「ネーション」を意味している。消去法が有効。ハの後半は2段落後に合致する。イの後半は現代の内容で不適切。
問五	標準	【傍線部説明】ホの後半は、文章末尾から2段落目に「現代」のこととしてある。
問六	やや難	【傍線部理解】「ナショナリズム」と「グローバリズム」の分裂であり、「政治」と「経済」の分裂である。イは、前半も後半も「政治」について述べており「経済」が不足。
問七	標準	【文章整序】ハ→イ→ホ→ニ→ロ→ヘ。「国家＝政治」と「市民社会＝経済」との対比である。
問八	やや難	【理由理解】すべての選択肢が本文にあり、やや迷うか。傍線部5は「ネーションはまだある」という内容であり、それと無関係なものを選ぶ。
問九	やや難	【傍線部説明】傍線部6の主語が「グローバリズムは」であることから判断する。イは「新しい政治思想が生まれつつある」が、ロは「世論は～」以下が、それぞれ不適切。
問十	やや難	【内容合致】ホは53～60行の段落内容に合致する。ヘは「ふたつの原理を統合」がやや疑問だが、他の選択肢との比較で判断する。イは「国家の形成が～」以下が、ロは「その理念は～」以下が、ハは「したがって～」以下が、ニは「ネーションは国境管理～」以下が、それぞれ不適切である。

(二) 評論文(現古漢融合文)。「『今昔物語集』における仏陀伝」について。

出典:益田勝実『説話文学と絵巻』。

《本文字数:(現古漢合計)約 2900 字=昨年より約 1000 字増加。設問数:11=昨年より 1 問減少。》

小問	難易度	コメント
問十一	やや難	【傍線部理解】日本の僧侶たちは漢訳仏典を日本に根付くものとして解釈し直すことをしなかった、という内容に最も近い選択肢を選ぶ。消去法が有効。
問十二	易	【傍線部理解】「止事無かる」「べかりし」に着目する。基本である。
問十三	やや易	【空欄補充】ここでの「まし」は、ためらいの意志。
問十四	やや易	【傍線部理解】2行前「或家より」から2行後「哭く時に」までの内容から容易に判断できる。
問十五	易	【文学史】『宇治拾遺物語』は鎌倉初期の説話集。基本中の基本。
問十六	標準	【傍線部理解】引用されている古文の内容から判断する。ニは古文の第1段落に書かれており、仏が直面した苦難の道の内容である。
問十七	やや易	【空欄補充】古文の第1段落や傍線部Eのある漢文などから容易に判断できる。
問十八	やや易	【訓読】傍線部Bの2行後「若この起請を…有らば」をふまえれば容易だろう。
問十九	標準	【空欄補充】空欄丙に入る一句を具体化すると、次行「城内の人々が、さまざまな方法で釈迦を追い払っている」ことになるのだから、ニが正解と分かる。
問二十	やや易	【理由説明】前に引用されている3行の漢文の内容から容易に判断できる。
問二十一	標準	【内容合致】ロは全く本文に書かれておらず、ニも「本来は…」以下が不適。

〔総合コメント・今後の指針〕

昨年よりやや難化した。大問一が難しく差がつくだろう。3年連続で漢文の設問が出題された。

大問一は、「ナショナリズムとグローバリズム」についての評論文。昨年より難化した。本学部は、13・14年はクセのある出題だったが、15年以降はスタンダードな出題が続いている。ただ、今年は全ての選択肢が本文に書かれている設問が散見され難しかった。本文に書かれているかどうかで判断するのではなく、本文内容をしっかりとつかんで設問に対する最適解を判断する必要がある。「国民国家」「ナショナリズム」「グローバリズム」といった頻出論点からの出題なので、論点の学習をしてきた受験生は手ごたえがあっただろう。ここで高得点をとれば大きなアドバンテージになる。

大問二は、「『今昔物語集』における仏陀伝」についての現古漢融合文。昨年よりやや易化した。大問一と同様に大問二も 15年以降はスタンダードな出題が続いている。今年はとくに基本・標準レベルの設問がほとんどだったので高得点を狙いたい。